



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セック
コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,232	9.6	421	18.0	436	10.4	289	14.4
27年3月期第3四半期	2,949	△5.6	357	△12.3	395	△10.4	252	△6.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	113.07	—
27年3月期第3四半期	98.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,648	4,777	84.6
27年3月期	5,580	4,637	83.1

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 4,777百万円 27年3月期 4,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	52.00	52.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	52.00	52.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	3.7	600	△8.6	630	△10.8	420	△6.8	164.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	2,560,000 株	27年3月期	2,560,000 株
28年3月期3Q	255 株	27年3月期	255 株
28年3月期3Q	2,559,745 株	27年3月期3Q	2,559,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成27年4月から10月の月別売上高は9月を除き前年同月比で増加となっており、IT需要は全体的には堅調に推移していると推察されます。当社事業分野では、移動体通信事業者からの需要が下げ止まり、社会公共分野は堅調を維持し、宇宙先端分野や民間企業向けの開発が増加するなど、第2四半期累計期間と同様な環境が継続しております。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「需要構造の変化に対応し、継続的な成長を目指す」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けの開発が減少し、売上高は69百万円(前年同期比67.6%減)となりました。ワイヤレスBFは、移動体通信事業者向けのサービス系の開発やモバイル決済端末の開発は堅調だったものの、マルチメディア放送関連の開発が減少し、売上高は975百万円(同2.3%減)となりました。インターネットBFは、化学メーカー向けの大型案件を中心に民間企業向けの開発が増加し、売上高は756百万円(同98.8%増)となりました。社会基盤システムBFは、防衛、放送分野の開発は堅調でしたが医療分野が減少し、売上高は963百万円(同7.3%減)となりました。宇宙先端システムBFは、先端技術に関わる国の研究機関向けの開発に加え、車両自動走行の研究案件の開発が増加し、売上高は438百万円(同61.4%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、インターネットBF、宇宙先端システムBFが上昇し、その他のBFが低下しております。

また、ソリューションビジネスは、地上デジタル放送用組込みソフトウェア(製品名: airCube)の販売が減少し、売上高は30百万円(同34.9%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,232百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益421百万円(同18.0%増)、経常利益436百万円(同10.4%増)、四半期純利益289百万円(同14.4%増)となりました。

ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	213,078	7.2	69,053	2.1
ワイヤレス	997,905	33.8	975,191	30.2
インターネット	380,665	12.9	756,604	23.4
社会基盤システム	1,039,659	35.3	963,488	29.8
宇宙先端システム	271,565	9.2	438,330	13.6
ソリューション	46,477	1.6	30,271	0.9
計	2,949,351	100.0	3,232,940	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	52,164	55.3	11,429	54.5
ワイヤレス	1,193,130	113.2	382,788	158.7
インターネット	842,400	216.5	252,964	207.1
社会基盤システム	921,100	82.0	576,277	92.2
宇宙先端システム	416,864	183.3	160,301	182.3
ソリューション	16,990	51.8	4,877	40.6
計	3,442,650	117.9	1,388,638	125.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ68百万円増加し、5,648百万円となりました。これは主に、投資有価証券の増加77百万円などによる固定資産の増加94百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ72百万円減少し、870百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少162百万円、短期借入金の増加123百万円、賞与引当金の減少93百万円などによる流動負債の減少75百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ140百万円増加し、4,777百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の83.1%から84.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年11月10日の「平成28年3月期第2四半期決算短信」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,063,369	2,412,335
受取手形及び売掛金	1,959,001	1,608,197
有価証券	200,000	200,000
その他	120,530	96,215
流動資産合計	4,342,901	4,316,748
固定資産		
有形固定資産	63,385	56,487
無形固定資産	4,198	5,833
投資その他の資産		
投資有価証券	591,739	669,395
その他	577,974	599,756
投資その他の資産合計	1,169,714	1,269,151
固定資産合計	1,237,298	1,331,473
資産合計	5,580,199	5,648,221
負債の部		
流動負債		
買掛金	150,190	198,177
短期借入金	36,000	159,000
未払法人税等	166,890	3,950
賞与引当金	207,000	114,000
その他	236,347	245,631
流動負債合計	796,429	720,759
固定負債		
役員退職慰労引当金	69,834	75,459
資産除去債務	13,206	13,338
その他	63,167	60,848
固定負債合計	146,208	149,646
負債合計	942,637	870,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	3,552,004	3,708,318
自己株式	△293	△293
株主資本合計	4,616,352	4,772,666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,209	5,148
評価・換算差額等合計	21,209	5,148
純資産合計	4,637,561	4,777,815
負債純資産合計	5,580,199	5,648,221

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,949,351	3,232,940
売上原価	2,178,551	2,409,437
売上総利益	770,800	823,503
販売費及び一般管理費	413,182	401,521
営業利益	357,618	421,982
営業外収益		
受取利息	3,197	4,367
受取配当金	876	896
不動産賃貸料	3,094	3,397
補助金収入	22,701	—
受取出向料	6,119	6,528
その他	3,277	848
営業外収益合計	39,267	16,038
営業外費用		
支払利息	586	630
不動産賃貸費用	1,004	1,013
営業外費用合計	1,591	1,644
経常利益	395,294	436,376
税引前四半期純利益	395,294	436,376
法人税、住民税及び事業税	78,897	91,971
法人税等調整額	63,459	54,983
法人税等合計	142,357	146,955
四半期純利益	252,936	289,420

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。